

市有財産施設整備事業 8,271万円

老朽化した施設、利活用計画のない施設については解体をすることにより、土地の有効活用と周辺住民の安全性を図る。

質疑

問 解体工事がなされているが、解体後の計画はどうなっているか。

答 中央図書館・男女共同参画センターの解体後は天草市民センターの駐車場に、本渡地区公民館・勤労青少年ホームを解体後はキリシタン館と老人福祉センターの駐車場として利用している。そのほかの施設跡地は、地区への貸与や売却を含め検討している。



令和2年度解体実績
中央図書館・男女共同参画センター
本渡地区公民館・勤労青少年ホーム
旧川原保育所（すくすく園）
旧天草広域市町村圏協議会事務所
旧河浦小学校校長住宅



問 利用されていない施設の今後の解体計画は。

答 普通財産153施設のうち、利用されていない施設は100施設ある。雨漏りや危険な家屋および跡地の活用があるところは優先的に、予算の範囲内で計画的に解体を進めていきたい。今年度作成の再配置計画等で改めて検討する。

地域活動支援センター事業費 1,110万円 地域生活支援事業（任意事業） 1,611万円



障がい者の活動の場や支援事業を提供するなど地域生活支援を行い、自立し安定した生活向上を図る。

質疑

問 いずれも決算額が、前年度の半分程度になっているが、その理由は。

答 現状を踏まえた事業の大幅な見直しを行った。サービス事業所の利用状況や事業実績による委託料、地域安心生活支援事業など事業体制の見直しを行っている。

未来の大人応援プロジェクト事業 550万円

高校生などがまちづくり協議会等と連携しながら、地域課題解決のために地域資源を生かしたまちづくりやビジネスを提案・実施し、地元で根ざした人材育成を図る。

質疑

問 これまでの成果は。

答 地域資源を生かした「あまりん焼き」というオリジナルたい焼きの制作や「防災用非常食」を開発。この非常食を開発した天草拓心高校は、全国SBP(※)チャレンジアワードで文部科学大臣賞を受賞した。

(※)SBPとは、Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取組。

問 今後も天草の高校生の力(発想)を見だし、地域づくりにつながる活動に市独自の支援を。

答 今後は、関係部署を含め様々な観点から、どのような支援ができるか検討していきたい。



令和2年度 一般会計歳入歳出決算などを認定!!

予算決算委員会では9月13日から16日の4日間、令和2年度一般会計および特別・企業会計歳入歳出決算の審査を行い、認定すべきものと決定しました。

なお、決算の詳細については、市政だより天草11月号に掲載されていますので、本紙では審査の際の質疑の内容などをお知らせします。

令和2年度一般会計

歳入 670億7,014万9,358円

歳出 635億6,803万6,025円

(歳入、歳出には基金の取り崩し金25億2,318万5千円および積立金18億4,132万3千円を含む。)

監査委員の意見の一部をご紹介します

市の財政については、新型コロナウイルス感染症対策に関連し、臨時的な国庫支出金の増加により歳入が増加したものの、普通交付税は段階的に削減されている状況である。新型コロナウイルス感染症の対策に要する経費や、頻発する自然災害の復旧にも対応していく必要があり、今後、交付税の減少や国庫支出金の縮小に伴い、行財政運営はさらに厳しさを増すと予想される中で、歳入に見合った施策の展開や、さらなる効率化の推進と効率的な事業の実施に取り組んでいかれることを期待する。

議員間討議を実施

委員会では、採決の前に議会基本条例第13条で定める「議員間の自由討議」を実施しました。自由討議は、会派内等での協議を経てから行い、「事業の基本構想や基本計画をつくる際には、議会へ報告すべき」、「地域の課題を解決するための事業は、事業推進のため補助の上限を見直すべき」などの意見が出され、さまざまな協議をいたしました。

決算審査における議会の意見

今回の委員会では、執行部に対して、事業の実績や成果について説明を求め、審査を行いました。なお、特に重要と思われる事業については、市議会として、決算に係る意見・要望を取りまとめ、執行部に提出いたしました。また、令和4年度当初予算の審査の際には、この意見・要望がどのように予算に反映されているのか説明を求め、審査を行うこととしています。

